公安委員会説明資料
令和８年６月３日
地域部通信指令課

令和８年度新潟県警察通信指令・無線通話技能競技会の開催について

目　　的	重大事案等の発生に際し、組織的かつ迅速的確な初動警察活動の実施に資するため、その要となる通信指令を担う警察官の通信指令技能の向上と、現場警察官の無線通話技能等の底上げを図ることを目的とする。
開催日時 会　　場	○　予選　６月15日（月）及び６月18日（木）　終日 ○　本選　６月26日（金）　午前９時30分から午後０時まで ○　会場　警察本部意見聴取室・控え室及び意見聴取事務室
競技会役員	競技会会長　　本部長 競技会副会長　地域部長 競技会責任者　通信指令課長
開催要領	○　各署は、署通信室員役と現場警察官役の二人一組で１チームを編成し、想定事案に基づき、競技時間15分の間に通信指令及び無線通話等を行い、その技能を競うものとする。 ○　県下28署を２グループに分けて予選を行い、各グループにおける上位２署・計４署で本選を行う。 ・　６月15日（月）予選グループＡ 新潟東署、江南署、新潟北署、西蒲署、五泉署、三条署、長岡署、見附署、与板署、小千谷署、十日町署、南魚沼署、上越署、糸魚川署　計14署 ・　６月18日（木）予選グループＢ 新潟中央署、新潟西署、秋葉署、新潟南署、村上署、新発田署、阿賀野署、津川署、燕署、加茂署、小出署、柏崎署、妙高署、佐渡署　計14署 ・　６月26日（金）本戦 各予選上位２署・計４署 ○　出場資格 ・　署通信室員役～年齢45歳未満の警部補又は巡査部長 ・　現場警察官役～初任科卒業後５年未満の巡査部長以下
表　　彰	団体は上位２位を表彰し、個人は署通信室員部門と現場警察官部門のそれぞれ上位２位を表彰する。

公安委員会説明資料
令和８年６月３日
地域部地域課

夏期における水難防止対策の推進について

目的

例年、夏期には県内外から多くの海水浴客等が訪れ、水難の多発が懸念されることから、昨年の発生状況を広報するとともに、各種水難防止対策を推進するもの。

推進期間

令和８年７月１日（水）から８月 31 日（月）までの２か月間

昨年同期間中の発生状況
（数値は警察認知）

【場所別発生状況】
令和７年７月１日（火）から８月 31 日（日）までの２か月間

場所	発生件数	水難者数	（内訳）			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
海	7	8	4	0	1	3
河川	3	3	2	0	0	1
用水路	1	1	1	0	0	0
合計	11	12	7	0	1	4

【特徴】
1　年代別水難者数
10 歳未満１人、10 歳代２人、20 歳代１人、30 歳代１人
40 歳代３人、50 歳代１人、60 歳代２人、70 歳代１人
2　国籍別水難者数
日本人　12 人（県内居住者８人、県外居住者４人）
外国人　０人
3　行為別水難者数
水遊び４人、魚とり・釣り４人、作業中１人、通行中１人
その他１人、不明１人

推進事項

1　広報啓発活動の推進
2　関係機関との連携
3　パトロールの強化

県民への注意事項

1　遊泳禁止場所では泳がない・立入禁止場所には立ち入らない
2　子どもから目を離さない
3　飲酒したら絶対に泳がない
4　ライフジャケットの着用
5　滑りやすい場所でのスリップ注意

過去５年間の発生状況
（数値は警察認知）

別添資料参照

資料

【令和７年７月１日（火）から８月 31 日（日）】

場　所	発生件数	水難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
海	7	8	4	0	1	3
河　川	3	3	2	0	0	1
用水路	1	1	1	0	0	0
合　計	11	12	7	0	1	4

【令和６年７月１日（月）から８月 31 日（土）】

場　所	発生件数	水難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
海	19	32	8	0	6	18
河　川	0	0	0	0	0	0
用水路	1	1	1	0	0	0
合　計	20	33	9	0	6	18

【令和５年７月１日（土）から８月 31 日（木）】

場　所	発生件数	水難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
海	16	23	6	0	4	13
河　川	1	1	1	0	0	0
用水路	0	0	0	0	0	0
合　計	17	24	7	0	4	13

【令和４年７月１日（金）から８月 31 日（水）】

場　所	発生件数	水難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
海	11	15	6	0	0	9
河　川	2	2	0	0	0	2
用水路	0	0	0	0	0	0
合　計	13	17	6	0	0	11

【令和３年７月１日（木）から８月 31 日（火）】

場　所	発生件数	水難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
海	4	4	0	0	1	3
河　川	9	16	3	0	0	13
用水路	0	0	0	0	0	0
合　計	13	20	3	0	1	16

公安委員会説明資料
令和８年６月３日
地域部地域課

夏期における山岳遭難防止対策の推進について

目的

例年、夏期には県内外から多くの登山者等が訪れ、山岳遭難の多発が懸念されることから、昨年の発生状況を広報するとともに、各種山岳遭難防止対策を推進するもの。

推進期間

令和８年７月１日（水）から８月 31 日（月）までの２か月間

昨年同期間中の発生状況
（数値は警察認知）

【入山目的別発生状況】
令和７年７月１日（火）から８月 31 日（日）までの２か月間

入山目的	発生件数	遭難者数	（内訳）			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	17	22	0	0	11	11
山菜採り	1	1	1	0	0	0
渓流釣り	2	2	1	0	1	0
その他	1	1	0	0	0	1
合計	21	26	2	0	12	12

【特徴】
１　年代別遭難者数
10 歳未満１人、10 歳代２人、20 歳代１人、30 歳代１人
40 歳代４人、50 歳代６人、60 歳代７人、70 歳代４人
２　国籍別遭難者数
日本人　24 人（県内居住者７人、県外居住者 17 人）
外国人　　２人（中国２人）
３　態様別遭難者数
滑落８人、道迷い８人、転倒５人、病気３人、疲労２人

推進事項

１　広報啓発活動の推進
２　関係機関との連携
３　遭難発生時の迅速・的確な対応

県民への注意事項

１　熱中症や脱水症状に十分注意して、体力、経験等に見合った山を選択し、余裕のある登山計画を立てる。
２　天候や地形、クマ出没等に関する事前の情報収集に加え、登山地図アプリの活用と登山計画書の提出を心掛け、複数で入山する。
３　有事に備え、携帯電話、モバイルバッテリー、飲食料、ライト、ホイッスル、クマ鈴、クマ撃退スプレー等、準備を万全にする。

過去５年間の発生状況
（数値は警察認知）

別添資料参照

資料

【令和７年７月１日（火）から８月 31 日（日）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	17	22	0	0	11	11
山菜採り	1	1	1	0	0	0
渓流釣り	2	2	1	0	1	0
その他	1	1	0	0	0	1
合計	21	26	2	0	12	12

【令和６年７月１日（月）から８月 31 日（土）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	16	16	1	0	7	8
山菜採り	0	0	0	0	0	0
渓流釣り	1	1	0	0	1	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	17	17	1	0	8	8

【令和５年７月１日（土）から８月 31 日（木）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	20	24	5	0	8	11
山菜採り	1	1	0	0	0	1
渓流釣り	1	1	0	0	1	0
その他	4	4	0	1	0	3
合計	26	30	5	1	9	15

【令和４年７月１日（金）から８月 31 日（水）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	22	24	0	0	7	17
山菜採り	0	0	0	0	0	0
渓流釣り	2	2	1	0	1	0
その他	1	1	0	0	0	1
合計	25	27	1	0	8	18

【令和３年７月１日（木）から８月 31 日（火）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	15	24	0	0	1	23
山菜採り	0	0	0	0	0	0
渓流釣り	2	2	0	0	2	0
その他	4	4	0	1	0	3
合計	21	30	0	1	3	26